

研究発表会開催通知

(昭和59年10月15日～11月30日)

研究会	日	時	会場	備考
マイクロコンピュータ } 計算機アーキテクチャ } 合同	11月5日(月)	14:00～17:00	機械振興会館	下記参照
グラフィクスとCAD	11月6日(火)	13:00～17:00	同上	同上
日本文入力方式	11月7日(水)	13:30～17:00	同上	同上
コンピュータビジョン	11月15日(木)	13:30～17:00	筑波大	同上
分散処理システム	11月16日(金)	13:00～16:00	名古屋大	同上
設計自動化	11月20日(火)	9:45～17:00	大阪大学 大工業会館	同上
データベース・システム	11月20日(火)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
知識工学と人工知能	11月22日(木)	10:00～17:00	同上	同上
ソフトウェア工学	11月28日(水)	13:30～17:00	同上	同上

◆ 第34回 マイクロコンピュータ研究会 } 合同 (発表件数: 2件)
 第47回 計算機アーキテクチャ研究会 }

MC (主査: 安田寿明, 幹事: 斉藤 剛, 若鳥陸夫, 脇 英世)

CA (主査: 飯塚 肇, 幹事: 大島一純, 坂村 健)

日時 昭和59年11月5日(月) 午後2時～5時

会場 機械振興会館 地下3階研修1号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷-東京タワー線東京タワー, 等々力-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議題 (1) 言語 OCCAM の設計思想と TRANSPUTER について

IANN M. BARRON 他 (英 INMOS)

〔概要〕 逐次通信プロセス (C.A.R. Hoare) の思想を汲んだ言語 OCCAM の設計思想と OCCAM を直接実行する マイクロコンピュータ TRANSPUTER について解説する (英語).

(2) 言語 OCCAM の構文図について

若鳥陸夫 (日本ユニバック)

〔概要〕 言語 OCCAM の普及を目的に構文を構文図式に変換したので報告する.

◆ 第15回 グラフィクスと CAD 研究会 (発表件数: 5件)

(主査: 田嶋太郎, 幹事: 井越昌紀, 木村文彦, 松家英雄)

日時 昭和59年11月6日(火) 午後1時～5時

会場 機械振興会館 地下3階2号室 (所在地は前記参照)

- 議 題
- (1) 三次元離散分布ベクトルからの流線算出とその表示
佐藤泰典, 原田耕一, 山下英生, 中前栄八郎 (広島大・工)
〔概要〕 シリンダ内の三次元気体流線ベクトルを内挿・外挿法により求め, カラステレオ表示する方式について述べる.
- (2) 荒めに手書きされた論理回路図面の認識
中嶋正之, 安居院猛, 飯塚久登 (東工大・像情報)
〔概要〕 多少荒めに手書きされた論理回路図面に対して入出力関係の論理式を出力する自動パターン認識システムの処理アルゴリズムについて報告する.
- (3) 立体モデルとロボット動作教示の一考察
伊藤祐二 (小野田セメント), 出澤正徳 (理研)
〔概要〕 形状の異なる多種の部品を扱うロボットシステムを想定し, 部品形状のモデル化と立体モデルに基づくロボット動作教示法を検討した.
- (4) 電子ビームによる VLSI パターンの創成におけるグラフィックス的課題
出澤正徳, 相馬 嵩 (理研)
〔概要〕 電子ビーム露光法により VLSI 等の微細パターンを創成する際に必要とされる種々のグラフィックス的な情報処理について検討した.
- (5) Eurographics '84 他参加報告
木村文彦 (東大・工)
〔概要〕 Eurographics '84 および IFIP WG 5.2 の参加報告をする.

◆ 第 18 回 日本文入力方式研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 山田尚勇, 幹事: 坂下善彦, 首藤正道)

- 日 時 昭和 59 年 11 月 7 日 (水) 午後 1 時半～5 時
- 会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)
- 議 題
- (1) 日本語入力用ローマ字キー配列の最適化
白鳥嘉勇, 小橋史彦 (横須賀通研)
〔概要〕 日本語のかな出現頻度をもとに交互打鍵率, 手指の負担率等を考慮してローマ字入力の最適化をはかる.
- (2) カナ文字鍵盤の文字配置 坂下善彦, 宮崎一哉, 渡辺 治 (三菱電機)
〔概要〕 約 23 万文字の日本文かな文字データを基に左右手の交互打鍵率が高くなるアルゴリズムを用い 3 段の鍵盤の文字配置を試みた.
- (3) オンライン文字認識による日本語入力
吉田和永, 亘理誠夫, 迫江博昭, 清水 洋, 上原和彦 (日電)
〔概要〕 日本語入力のためのオンライン文字認識装置に関し, その認識方式と応用について述べる.

◆ 第 33 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 辻 三郎, 幹事: 木戸田正継, 杉原厚吉)

- 日 時 昭和 59 年 11 月 15 日 (木) 午後 1 時半～5 時
- 会 場 筑波大学大学会館 特別会議室
〔茨城県新治郡桜村天王台 1-1-1, 国鉄: 常盤線 (上野発 11: 33) 荒川沖下車 (12: 30), 東口より, 関東鉄道バス: 筑波大中央行き (12: 41) 大学会館前下車

(13:15), Tel. 0298 (53) 5156)

議 題

- (1) 会話型画像評価システムの開発 三浦修一 (日立)
〔概要〕 評価サイクルという概念を導入し、試行錯誤的に画像処理アルゴリズムを作成できるシステムを開発した。
- (2) 領域間マッチングによる深さ情報抽出法 池内克史 (電総研)
〔概要〕 2枚のいがくり表現像を面素の方向に応じて領域分割する。この領域間どうしを対応づけて深さ情報を抽出する。
- (3) 胃X線写真からの大局的異常の候補の検出 寺師泰代, 白井良明 (電総研)
〔概要〕 胃X線立位充満像から胃の部位を決定し、大局的な形状より異常の候補を検出する手法について述べる。
- (4) サーベイ: 画像を利用した立体計測の諸手法 杉原厚吉 (名大・工)
〔概要〕 2次元画像から3次元形状を抽出するための数理的手法をできるだけ広く集め、それらの整理を試みる。
- お詫び 会誌8月号では研究会開催日を11月16日(金)とお知らせしましたが、都合により11月15日(木)に変更いたしましたので、お詫びして訂正いたします。

◆ 第24回 分散処理システム研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 野口正一, 幹事: 河岡 司, 白鳥則郎)

日 時
会 場

昭和59年11月16日(金)午後1時~4時
名古屋大学大型計算機センター 5階演習室
〔名古屋市千種区不老町, 国鉄: 名古屋下車, 地下鉄: 東山線藤ヶ丘行にて本山下車南へ徒歩10分, Tel. 052 (781) 5111〕

議 題

- (1) 複合サービス・ローカル・エリア・ネットワークの性能評価 江崎修司, 西田竹志, 宮原秀夫, 高島堅助 (阪大・基礎工)
〔概要〕 データ・音声・画像など, そのトラヒック特性, そして要求するサービス品質が異なったトラヒックが, 混在して伝送されるネットワークにおいてさまざまな端末の接続形態・トラヒック状況を想定して, シミュレーションにより事例研究を行う。
- (2) LAN 相互接続の実現法 関根真二, 井出政司, 小川元孝, 松下 温 (沖電気)
〔概要〕 各種の LAN を統合した LAN システム体系に基づいた LAN 間の相互接続に関する実現法について述べる。
- (3) コンピュータシステムのセキュリティ技術と具体的対策例について 白石 旭 (横須賀通研)
〔概要〕 システムへの不正行為に対する技術対策の体系的整理を行い, 具体例として試作したセキュリティ関連パッケージの機能を紹介する。
- (4) OSI セッション・レーヤ標準のインプリメント 鈴木健二, 加藤聰彦 (KDD)
〔概要〕 OSI セッションレーヤのサービス定義・プロトコル仕様を実システムにインプリメントしたのでその概要と結果について報告する。

(5) オートマトンモデルに基づく OSI トラnsポート・プロトコルの製品検証
加藤聰彦, 鈴木健二 (KDD)

[概要] OSI トラnsポート・プロトコルの製品検証に関して, オートマトン・モデル, テスト系列の構成, 検証実験の結果について報告する.

(6) 協調分散システム—Ada ワークステーションを用いた事例研究

藤田昭平, 大島淳一, 深尾 毅 (東工大・工)

[概要] 協調分散システム用 OS の機能・構造について論じ, Ada による分散 OS の作成例を示し, 具体的な分散アルゴリズムに基づいた性能評価について述べる.

◆ 第 24 回 設計自動化研究会

(発表件数: 8 件)

(主査: 村井真一, 幹事: 上原貴夫, 向殿政男)

日 時 昭和 59 年 11 月 20 日 (火) 午前 9 時 45 分～午後 5 時

会 場 大阪大学工業会館 会議室

[大阪市北区堂島 2-2-2, 近鉄堂島ビル 20 F, 国鉄: 大阪より徒歩約 10 分, 毎日新聞社前, Tel. 06 (344) 6171]

議 題 9: 45～12: 00 (3 件)

(1) IC チップ内部のグラフ表現による自動割付けシステム

新井浩志, 門倉敏夫 (早大・理工), 深沢良彰 (相模工大・工)

[概要] 部分グラフの同型性を調べることにより, IC チップの自動割付けを行うシステムの概要について報告する.

(2) VLSI ブロック自動配置手法 三浦地平, 茂垣真人, 小澤時典 (日立)

[概要] VLSI のレイアウト設計におけるブロックの配置の自動化を目的としたブロック相対配置アルゴリズム CTOP, および, 配線領域推定アルゴリズム WSE について報告する.

(3) VLSI レイアウトシステム (VILLA) 用自動配線プログラムについて

山本一郎, 森 裕子, 小池 豊, 荘司公克, 安藤 宏 (沖電気)

[概要] 階層化設計手法による VLSI 用自動配線プログラムの機能・構成と, それを用いた新探索アルゴリズムについて報告する.

13: 00～17: 00 (5 件)

(4) 階層構造を利用したデザインルールチェック

小林裕一, 小池三博, 高島 誠 (東芝)

[概要] LSI のレイアウトの階層構造を利用することで, 幾何学的設計規則検査の電算機時間の短縮をはかる.

(5) イン・サーキット・テストをサポートする CAD

室井克信, 荻原拓治, 村井真一, 橘田光弘 (三菱電機)

[概要] イン・サーキット・テストをサポートする CAD システムについて報告する.

(6) テブナン定理を応用した MOS デジタル回路の論理シミュレーション

小島 智, 山城 治, 高橋 強, 江口一彦, 福田秀樹 (日立)

[概要] テブナン定理を応用した MOS デジタル回路のモデルおよびその論理

シミュレーション方式を報告する。

- (7) ALU の論理合成法 高木 茂 (武蔵野通研)
〔概要〕 機能種別と制御コードで記述された仕様に基づき ALU の詳細論理を自動合成する手法について述べる。
- (8) ALU の制御コード割当法 高木 茂 (武蔵野通研)
〔概要〕 ALU のデコーダのゲート量は、制御コード割当の良し悪しに依存する。デコーダのゲート量を (準) 最小とする ALU の制御コード割当法を示す。

◆ 第 44 回 データベース・システム研究会 (発表件数: 5 件)

(主査: 酒井博敬, 幹事: 有澤 博, 三浦孝夫, 吉田郁三)

- 日 時 昭和 59 年 11 月 20 日 (火) 午後 1 時半～5 時
会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)
議 題 (1) PMS コンセプト・モデルと状態構造変化を考慮したデータベース
加藤哲夫 (神戸ソフトウェア)
〔概要〕 PMS コンセプト・モデルの位置づけを明確にし、状態構造変化を考慮したデータベースの PMS への適用を検討する。
- (2) ADABAS の分散データベース機能
石井義興, 嶋田正裕 (ソフトウェア・エージェンシー)
〔概要〕 ADABAS は日本でもすでに 150 ユーザで稼動しているが、新たに追加される ADABAS 用分散データベース機能についてその概要を述べる。
- (3) リレーショナル・データベースの定形業務への適用について
田中 豪, 戸田 博, 池田哲夫 (横須賀通研)
〔概要〕 オンライン定形業務処理を効率良く実現するために必要なリレーショナル DBMS 具備機能について述べる。
- (4) 1984 年 AFIPS National Computer Conference 報告
上林弥彦 (九大・工)
〔概要〕 1984 年の NCC はラスベガスで開催され約 12 万人が集まった。この会議で行われたデータベース関係の論文発表や、関係データベースに関するパネルについて報告する。
- (5) 1984 年度 第 10 回 VLDB 国際会議報告 増永良文 (情報大)
〔概要〕 1984 年 8 月 27 日～31 日シンガポール共和国で開催された第 10 回 VLDB 国際会議の概要を報告する。また 1986 年の第 12 回 VLDB 国際会議の京都開催が決議された。

◆ 第 37 回 知識工学と人工知能研究会 (発表件数: 5 件)

(主査: 志村正道, 幹事: 石塚 満)

- 日 時 昭和 59 年 11 月 22 日 (木) 午前 10 時～午後 5 時
会 場 機械振興会館 地下 2 階ホール (所在地は前記参照)
議 題 (1) 住宅間取り設計 エキスパート・システム
加藤誠己 (上智大・理工), 村上周三, 藤井 明 (東大・生研)

〔概要〕 種々の制約条件, 一般的原則および建築主の要望等をルールとして小住戸の平面設計を行うエキスパート・システムについて述べる.

(2) 新幹線・航空機の最適乗継系列探索エキスパート・システム

加藤誠巳, 倉部 淳 (上智大・理工)

〔概要〕 出発地, 目的地および到着または出発希望時刻を与えて, 最少時間の乗継系列を見出すエキスパート・システムについて述べる.

(3) SD³ 上の略地図発生システム: SD³-MG

古田香代里, 吉田 勇, 山崎清明 (沖電気)

〔概要〕 分散型演繹データベースシステム: SD³ 上のアプリケーションとしての略地図発生システム: SD³-MG の概要を紹介する.

(4) 分散型演繹データベースシステム: SD³

吉田 勇, 古田香代里, 山崎清明 (沖電気)

〔概要〕 分散型演繹データベースシステム: SD³ の設計目標, システム構成, プロトコルの概要を紹介する.

(5) 知的プログラミング支援システムについて 上野晴樹 (電機大・理工)

〔概要〕 知識を利用したプログラミング支援システムのサーベイと開発中のINTELLITUTOR について述べる.

(6) パネルディスカッション

「人工知能とプログラミングの接点」

パネリスト (予定)

諏訪 基 (電総研), 岩元莞二 (日電), 奥野 博 (武蔵野通研)

国藤 進 (ICOT), 杉本正勝 (富士通), 米澤明憲 (東工大)

◆ 第39回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 木村 泉, 幹事: 久保未沙, 花田収悦)

日 時 昭和59年11月28日(水) 午後1時半~5時

会 場 機械振興会館 地下3階2号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) プログラムの複雑性評価 平野行芳, 谷津行穂, 大場 充 (日本 IBM)

〔概要〕 複雑性尺度を提案し, 現実のエラーとの相関による Cyclomatic Number との比較評価.

(2) サンプリング法を適用したテスト網羅率の測定法

石黒正典 (横須賀通研)

〔概要〕 テスト網羅率を測定するための簡便な方式を提案し, 大規模プログラムに対する適用性についての評価.

(3) データ抽象向き言語のためのプログラム設計技法

久野 靖 (東工大・理)

〔概要〕 既成のプログラム設計技法ではデータ抽象の考えが生かしくい. 構造化設計法に基づき, この点を改良した.

(4) Ada 処理系の実現方式

細谷僚一, 田中 清, 藤丸政人, 山口和幸 (横須賀通研)

〔概要〕 ソフトウェアの生産性, 流通性の向上をねらいとして実用化した DIPS

Ada 処理系についての特徴，コンパイラの性能および支援ツールも含めた生産性評価。

◆ 知識工学と人工知能研究会

第 38 回 1 月 24 日 (木) 京都 (発表論文申込締切日 10 月末日)

第 39 回 3 月 19 日 (火) 東京 (“ 12 月末日)

◆ ソフトウェア工学研究会

今年度最後の研究会 (第 40 回) を下記のとおり開催いたします。発表ご希望の方は，11 月 20 日 (火) までに，発表題目と 50 字以内の概要を添えて，事務局研究会係までお申込み下さい。

日 時 昭和 60 年 2 月 7 日 (木)・8 日 (金)

会 場 金沢工業大学

議 題 ソフトウェア工学全般にわたり，特に生産活動における人間的要素，ソフトウェア工学の教育および製品のユーザ親和性に注目した生産・利用現場からの発表を歓迎します。

昭和 60 年度研究会の新設提案について

昭和 60 年度に研究会の新設を希望する会員は，10 月末日までに所定の書式により，研究会新設提案書を調査研究運営委員長に提出してください。

書式その他詳細は学会事務局研究会係までお問合せください。

日本学術会議第13期会員の候補者推薦について

このたび日本学術会議法の改正に伴い学術会議会員は、学会の推薦者のうちから選定されることになりました（p.1171 日本学術会議だより欄参照）。

本会といたしましては、わが国の科学技術の発展に寄与するため、学術会議会員の候補者としてふさわしい方^{注1)}を推薦いたしたく思います。

つきましては、下記要領により、会員の候補者として適切な方のご推薦をお願い致します。

なお、ご推薦いただいた候補者につきましては、理事会で選定のうえ、本会の会員候補者として日本学術会議に推薦致します。

記

1. 日本学術会議法による学術会議会員の候補者の資格等

(1) 日本学術会議会員は、

- その専門とする科学または技術の分野において5年以上の研究歴を有し、当該分野における優れた研究または業績がある科学者でなければならない。
- 通じて9年を超えて在任することができない。ただし、任期の途中において9年に達したときは、その任期の終了するまでの間、在任することができる。
- 日本国籍を有しないものは、会員になれない。

(2) 日本学術会議会員候補者は、

- 登録学術研究団体の構成員^{注2)}である科学者のうちから選定する。

2. 推薦者の資格

本会正会員に限る。

3. 推薦候補者数

上記学術会議会員の候補者の資格および望ましい会員像^{注1)}に該当し、適格と認められる方1名を記入のこと。

4. 推薦方法

下記の推薦用紙に所定の事項を記入し、本会事務局長あてに郵送すること。

5. 推薦締切日 昭和59年10月31日(水)

[注1] 望ましい会員像(日本学術会議で審議作成)

会員は、①科学者の代表機関の構成員であるとともに、②その職務上、個別専門分野のみならず諸科学全体の発達を図り、また、行政、産業、国民生活に科学を反映浸透させる目的のため、科学者の総意の下に、審議と研究連絡に当る責任を有する。

したがって、会員は以下の諸点を具えることが望ましい。

ア その専門分野で、国内的、国際的にすぐれた業績を有するもの。

イ 自己の専門分野のみでなく、他の分野の科学にも関心を持ち理解に努め、科学の全般的発展のために総合的視野に立って、科学政策を審議しうる能力、見識を持ち、責任を果たす意欲を有するもの。

ウ 科学者と結びついてその意向や要望を汲みあげ、これを本会議の諸活動に反映させるよう努力するもの。

エ 科学者としての良心と本会議創設の精神、日本学術会議法、科学者憲章に基づいて適正な活動を行うもの。

[注2] 本会は、登録学術研究団体として申請中で、構成員とは本会会員のこと。

第13期日本学術会議会員の候補者推薦用紙

候補者氏名	
所属機関・職名	
推薦者 住所・氏名	正会員
(連絡先電話番号)	

Brandin ACM 前会長講演会開催のお知らせ

Association for Computing Machinery (ACM) の前会長 Brandin 氏が、このたび11月6日～9日に開催の第五世代コンピュータ国際会議に出席のため来日される機会に、本学会会員のため下記により講演いただくことになりました。

ACM と Joint Membership を結んだ折柄、この講演は大変意義深いものであり、多数の方々のご参加をおすすめします。

記

日時 昭和59年11月8日(木) 14:00～16:00
場所 日本教育会館(一ツ橋ホール) 8階 803・804会議室
(東京都千代田区一ツ橋 2-6-2) Tel. 03(230)2831
地下鉄 竹橋、九段下、神保町駅から徒歩5～6分、共立女子中学校隣り
講演者 David H. Brandin (SRI 副社長, ACM 前会長)
コーディネータ 山田尚勇 (東大)
演題 日本と米国のコンピュータサイエンスについて—United States Department of
Commerce Preliminary Findings on US and Japanese Computer Science
参加費 無料 定員140名(先着順)
資料代 実費

情報処理学会第30回全国大会論文募集要領

- 日時** 昭和60年3月13日(水)～15日(金)
- 場所** 工学院大学(東京都新宿区)
- 応募資格** 本学会個人会員(正会員, 学生会員)に限ります。共同発表の場合には, 登壇発表者は会員でなければなりません。なお, 59年度会費未納の会員は, 登壇発表ができません。また, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には申込みを受け付けません。入会申込書は3月号末尾に添付してあります。(電子通信学会会員は全国大会の参加・発表は会員扱いとします。)
- 申込料** 不要です。ただし, 登壇発表される方は, 論文集原稿を提出する際に, 必ず講演参加費(1件につき7,000円)を納入してください。
- 申込方法** 添付の講演申込用紙(1件1枚)に必要な事項を記入し, 宛先明記の原稿用紙送付用封筒(大きさA4判…21cm×30cmのもの, 切手は不要)を同封のうえ, **59年11月8日(木)までに(必着)**, 下記申込先へお送りください。登壇発表は原則として1人1件とします。ただし, やむを得ず2件以上になる場合には, 講演参加費は1件ますごとに7,000円ずつを申しあげます。申込締切後の変更は一切受け付けません。
- 論文提出** 所定の原稿用紙を12月上旬に送付しますので, 昭和60年1月21日(月)までにご提出ください。発表は日本語または英語で行うものとしますので, 論文は日本語または英語に限ります。ただし, 登壇発表者の入会手続が未了の場合には, 原稿用紙を送付しませんのでご留意ください。
- 申込先** 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 308-3 号室
(社)情報処理学会 第30回全国大会係 電話 03(431)2808

論文該当分野

- 基礎
 - 計算理論, b. アルゴリズム
 - c. プログラム理論, d. その他
- アーキテクチャおよびハードウェア
 - 専用マシン, b. 並列処理, c. 演算装置, d. 記憶装置, e. 周辺端末装置
 - f. 性能評価, g. 信頼性, h. 保守技術
 - i. マイクロコンピュータ, j. スーパーコンピュータ, k. その他
- オペレーティングシステム
- プログラミング言語およびソフトウェア工学
 - プログラミング言語とその処理, b. ソフトウェア設計, c. プログラミング技法
 - d. 開発管理保守, e. プログラミングツール, f. 性能評価, g. 信頼性, h. その他
- データベース
 - データベースマシン, b. データモデル
 - c. データマネジメント, d. 分散データベース, e. 性能評価, f. 情報検索
 - g. その他
- ネットワークおよび分散処理
 - システム, b. アーキテクチャ
 - c. プロトコル, d. ローカルネットワーク
 - e. 広域ネットワーク, f. 性能評価
 - g. 通信用ソフトウェア, h. その他
- パターン処理および人工知能
 - 文字認識, b. 画像処理, c. 自然言語理解, d. 音声, e. 人工知能, f. 知識工学, g. ロボット, h. その他
- 自然言語処理
 - 文解析合成, b. テキスト処理・辞書
 - c. 機械翻訳, d. 入出力, e. その他
- 数値計算
- ニューメディア
- オフィスシステム
- 技術, 産業への応用
 - CAD/CAM, b. CAE, c. グラフィックス, d. シミュレーション, e. その他
- 社会システムへの応用
- その他

講演 番号	
----------	--

情報処理学会第30回全国大会
講演申込用紙

掲載 ページ	
-----------	--

題 名(注1)				
ふりがな 氏 名(勤務先) <small>(注1)</small>	申込者が複数の場合には左から右の順に記入し、講演者の氏名には左上に必ず○をつけて下さい。			
講演者会員番号 <small>(入会手続中の方は 入会申込月日を記入)</small>	氏名には必ずふりがなをつけて下さい。			
原稿用紙送付先	(所在地) 〒 (氏 名)			
論文該当分野(注2)	(1)	(2)	(3)	*1 (注3)
<small>(注1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないで下さい。 (注2) 論文募集要領の論文該当分野表を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入下さい。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。 (例“データベース分野、性能評価”の場合、5e と書く) (注3) 複数件講演申し込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の*1 または*2 に記入して下さい。</small>				
— 論 文 要 旨 (300字程度) —				

受付 番号	
----------	--

「自然言語処理技術」シンポジウム開催のお知らせ

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 59 年 11 月 6 日(火), 7 日(水) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)
参加費 会員 10,000 円 (非会員 15,000 円) 学生会員 5,000 円
(論文集のみ 3,000 円, 送料 300 円)
懇親会 昭和 59 年 11 月 6 日(火) 17:30~ 於 6 階 67 号室 (会費 2,000 円)
(参加希望者はその旨申込書にご記入ください)
申込締切 昭和 59 年 10 月 16 日(火) (申込書は前号にあります)。

~~~~~プログラム~~~~~

第 1 日 11 月 6 日(火)

- 開会の辞 (9:00~9:10) 調査研究担当理事
- 基調講演 (9:10~9:50)

「言語工学」の推進

吉田 将 (九 大)

Session 1 (9:50~12:20)

座長 辻井 潤一 (京 大)

高順位単語の生起特性を利用した情報検索技法 松尾 文碩, 二村 祥一, 篠原 武 (九 大)

自然言語の分析による知識データの収集 田中 康仁 (姫路短大), 吉田 将 (九 大)

日本語索引自動生成システム 中園 薫, 白井 諭 (横通研)

対話型英日機械翻訳システムのためのあいまい性解消フロントエンド

富田 勝 (カーネギ・メロン大), 西田 豊明, 堂下 修司 (京 大)

J=TUTOR: A KANJI-ORIENTED JAPANESE LANGUAGE

EDUCATION SYSTEM

G. Connell (Toyohashi University of Technology)

M. Nagamatsu (Nagamatsu Institute)

N. Takeda, H. Ohiwa (Toyohashi University of Technology)

定形文章コンパイラとその文章作成支援システムへの応用

杉村 領一, 久保田淳市, 向井 喜美, 館林 誠 (松下電器)

——昼 食 (12:20~13:20)——

Session 2 (13:20~15:25)

座長 田中 穂積 (東工大)

はい・いいえ質問の応答における情報付加の枠組について 桃内 佳雄 (北 大)

日本語の算数文章題の理解・解決システム 山本 幹雄, 中川 聖一 (豊橋技科大)

文脈解析用意味表現 I-MOP の構造と機能 井佐原 均, 石崎 俊 (電総研)

文脈の表現と学習の一方 堀 浩一 (国文学研究資料館), 齊藤 忠夫, 猪瀬 博 (東 大)

テキスト処理へのアプローチ 染矢文一郎 (芦屋大)

—休憩 (15: 25~15: 35)—

Session 3 (15: 35~17: 15)

座長 榊 博志 (KDD)

外国語手紙文の自動作製について 齊藤 博昭 (慶大), 富田 勝 (カーネギ・メロン大)
語法規則変換方式による機械翻訳

—翻訳の表現式と翻訳文生成関数— 池田 尚志 (電総研)
より自然な翻訳へのアプローチ [I]

田中 穂積 (東工大), 辻井 潤一 (京大), 横山 晶一 (電総研), 安川 秀樹 (ICOT)
鈴木 克志 (三菱), 井佐原 均 (電総研), モニカ・ストラウス (MIT)

MU プロジェクトにおける辞書の運用方式—日英変換辞書と英語生成辞書—

中村 順一, 辻井 潤一, 長尾 真 (京大), 坂本 義行 (電総研)
佐藤雅之 (JICST)

第2日 11月7日(水)

Session 4 (9: 00~11: 55)

座長 日高 達 (九大)

属性文法評価システムによる自然言語処理 田村 直良, 高倉 伸, 片山 卓也 (東工大)
アクター指向型を導入した解析制御 三上 理, 上原 邦昭, 豊田 順一 (阪大)

An English Sublanguage Parser Based on DCG

丸山 宏 (日本 IBM), Richard I. Kittredge (Universite de Montreal)

自然言語の認識過程の心理学的なモデル 橋田 浩一, 山田 尚勇 (東大)

日本語文の法情報の処理について 内藤 昭三, 島津 明, 野村 浩郷 (武通研)

日本語技術文における並列構造と文の概形 首藤 公昭, 吉村 賢治, 津田 健蔵 (福岡大)

文書理解システムの試作 石田 勝世, 木村 和広, 河田 勉 (東芝)

—休憩 (11: 55~12: 05)—

●特別講演 (12: 05~13: 00)

「理科系の作文技術」

木下 是雄 (学習院大)

—昼食 (13: 00~14: 00)—

●パネル討論 (14: 00~17: 00)

「自然言語の知的処理」

司会 野村 浩郷 (武通研)

パネラ

荻野 綱男 (埼大), 鶴丸 弘昭 (長崎大), 辻井 潤一 (京大)

島津 明 (武通研), 石崎 俊 (電総研)

「アーキテクチャワークショップイン ジャパン '84」

シンポジウム開催のお知らせ

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 59 年 11 月 27 日 (火), 28 日 (水) 9 : 00~17 : 00

場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)

協賛 (予定) 電子通信学会

参加費 会員 10,000 円 (非会員 15,000 円) 学生会員 5,000 円 (協賛学会員は会員に準ずる.)
(論文集のみ 3,000 円, 送料 300 円)

懇親会 昭和 59 年 11 月 27 日 (火) 17 : 30~ 於 6 階 65 号室 (会費 2,000 円).

申込締切 昭和 59 年 11 月 6 日 (火) (申込書は前号にあります).

~~~~~プログラム~~~~~

第 1 日 11 月 27 日 (火)

- 開会の辞 (9 : 00~9 : 10)

調査研究担当理事

- 基調講演 (9 : 10~9 : 40)

「コンピュータアーキテクチャの発展と研究」

飯塚 肇 (成蹊大)

セッション 1 応用指向マシン (9 : 40~11 : 10)

座長 大島 一純 (横通研)

HAL : 超高速論理シミュレータにおける専用マシンアーキテクチャ

小池 誠彦, 大森 健児, 佐々木 徹, 野水 宣良 (日 電)

直並列バス 2 次元アレイにおける行列処理のトークン駆動アルゴリズム

翁長 健治, 永安 春男, 吉田亜紀夫 (広島大)

並列ルーティング・プロセッサ

橋 昌良, 中島 聰, 鈴木 敬, 大附 辰夫 (早 大)

——休憩 (11 : 10~11 : 20) ——

セッション 2 VLSI アーキテクチャ (11 : 20~12 : 20)

座長 国分 明男 (電総研)

シリコン・コンパイラ向き VLSI アーキテクチャ

平山 正治 (三 菱)

TRON トータルアーキテクチャ

坂村 健 (東 大)

——昼 食 (12 : 20~13 : 30) ——

- 招待講演 (13 : 30~14 : 30)

「VLSI/デバイスとコンピュータ・アーキテクチャ」

石井 治 (日本工業大)

——休憩 (14 : 30~15 : 00) ——

セッション 3 超高速計算機 (15 : 00~17 : 00)

座長 三浦 謙一 (富士通)

並列計算機 PAX-32J

星野 力, 白川 友紀 (筑波大)

スタック概念に基づいたパイプライン計算機

長谷川 誠 (静岡大工業短大), 重井 芳治 (東北大)

スーパーミニコン内蔵ベクトル演算アクセラレータ

黒田 健児, 黒田 正博 (三 菱)

低レベル並列処理機能を有するマイクロプログラム制御計算機 QA-2 の開発

中田登志之 (京 大), 北村 俊明 (富士通), 柴山 潔, 富田 真治, 萩原 宏 (京 大)

第2日 11月28日(水)

セッション4 データフローアーキテクチャ (9:00~10:30) 座長 山本 昌弘(日電)

実時間性を重視した並列計算方式 徳山 五郎, 村上 隆夫(横通研)

汎用並列処理実験システムによるデータ駆動形高度並列処理方式の一検討

岡本 俊弥, 宮田 宗一(シャープ), 長谷田 穂, 浅野 一, 戸倉 毅(松下電器)

清水 雅久, 原 秀次(三洋電機), 明智 光夫, 小守 伸史, 嶋 憲司(三菱)

西川 博昭, 浅田 勝彦, 寺田 浩詔(阪大)

ユニバーサルフローコンピュータアーキテクチャ

——データフロー, 一般化コントロールフロー, ノイマン処理可能コンピュータ——

曾和 将容(群馬大)

——休憩(10:30~10:50)——

セッション5 並列 Prolog マシン (10:50~11:50) 座長 林 弘(富士通研)

BINARY TREE MEMORY に基づいた PROLOG マシン

楊 容, 所 真理雄, 相磯 秀夫(慶大)

PIE における構造メモリの構成について 平田 圭二, 田中 英彦, 元岡 達(東大)

——昼食(11:50~12:50)——

セッション6 並列処理におけるタスク分割と相互通信 (12:50~14:20) 座長 金田悠紀夫(神戸大)

Dialog. H のプロトタイプシステム

濱崎 陽一, 岡田 義郎, 田島 裕昭, 鈴木 基史(電総研)

制限されたフローに対するマルチプロセッサのためのネットワーク——コストと性能評価——

相原 玲二, 柴藤 稔, 阿江 忠(広島大)

階層構造メモリ共有型高多重並列計算機とその有用性に関する2つの仮説

有田五次郎(九工大), 末吉 敏則(九大)

——休憩(14:20~14:40)——

●パネル討論(14:40~17:00)

「第5世代コンピュータ, スーパーコンピュータが商用コンピュータに与えるインパクト」

司会 相磯 秀夫(慶大)

第 15 回 画像工学コンファレンス

5月号本欄でお知らせしたとおり、標記コンファレンスが次の内容で開催されますので、多数参加されますようおすすめします。プログラムの詳細は前号末尾に掲載してありますので、ご参照ください。

- (1) わが国関連分野の第一人者による招待講演
- (2) 15回を記念して、最近のメディアテクノロジーに関する招待講演
- (3) 一般公募講演
- (4) 討論が十分にできるポスタセッション

なお、懇親会のほか、'84 国際画像機器展が催されます。

日 時 昭和 59 年 11 月 26 日(月) 13:00~17:50
27 日(火) 9:20~18:10 (懇親会 18:15~19:30)
28 日(水) 9:20~16:00

場 所 農協ホール(東京・大手町・農協ビル9階)
参 加 費 加盟学会員 8,000 円, 学生 4,000 円, 会員外 9,000 円, 懇親会費 3,500 円
申 込 方 法 (1) プログラム末尾にある申込書に必要事項を記載し, 参加費および懇親会費(希望者のみ)をそえ, 現金書留によりお送り下さい。折り返し参加券と領収証をお送りします。
(2) 申込期限 11月5日(月)
(3) 申 込 先 〒105 東京都港区芝大門 2-2-14 一松ビル1号館420号
「第15回画像工学コンファレンス事務局」Tel. 03(433)2544

論 文 集 当日会場でお渡しいたします。当日欠席の方にはコンファレンス終了後、郵送いたします。また、論文集のみご希望の方には、8,000 円でコンファレンス終了後、郵送いたします。

主 催 第15回画像工学コンファレンス実行委員会(担当:情報処理学会 コンピュータビジョン研究会・グラフィックスとCAD研究会)

加盟学会・委員会 5月号本欄参照

'84 国際画像機器展 期 日 昭和 59 年 11 月 27 日(火)~29 日(木)
会 場 東京都産業貿易会館(東京・竹芝)
主 催 日本画像・計測機器協議会
入 場 料 無料

※ コンファレンス会場と展示会場との間を、無料シャトルバスが走ります。

「グラフィックスと CAD」シンポジウム開催のお知らせ

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募頂き誠に有難うございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催致しますので、多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 昭和 59 年 12 月 6 日 (木), 7 日 (金) 9:00~17:00
場 所 機械振興会館大ホール (地下 2 階)
協賛(予定) 日本機械学会, 精機学会, 計測自動制御学会, 電子通信学会, 日本建築学会, 日本グラフィックデザイナー協会, 日本図学会
参 加 費 会員 10,000 円, 非会員 15,000 円, 学生会員 5,000 円 (協賛学協会員は会員に準ずる.)
(論文集のみ 3,000 円, 送料 300 円)
申 込 締 切 昭和 59 年 11 月 20 日 (火) (定員 150 名になり次第, 締切ります)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第 1 日 (12 月 6 日) 午前の部

開 会 (9:00~9:15) 司会 松家 英雄 (日本アイ・ビー・エム)

グラフィックスの研究と教育 田嶋 太郎 (名 大)

セッション 1 グラフィック言語/グラフィック・ソフトウェア (9:15~10:45)

座長 川合 慧 (東 大)

CAD システムにおける GKS の実現方式

水町 肇, 北川 愛子, 稲垣 充広, 山川 修三 (横通研)

Core, GKS および VDI 入力モデルとエミュレーション 今宮 淳美, 近藤 明男 (山梨大)

CAD 機能を組み込んだ多機能ワークステーションの構成

坂本 幸夫, 刀川 真, 菅原 昌平 (横通研)

セッション 2 アニメーション (11:00~12:00)

座長 中嶋 正之 (東工大)

三次元アニメーション用画像表示システム 大橋 敏明, 内木 哲也, 所 真理雄 (慶 大)

CRAY-1 を用いたアニメーションシステムの開発

松永 祐一, 三輪 健夫, 糸井 正孝, 石岡 勝 (三菱総研)

—— 昼 食 (12:00~13:30) ——

第 1 日 (12 月 6 日) 午後の部

招待講演 (13:30~15:00) 司会 田嶋 太郎 (名 大)

形状理論の発展と応用 穂坂 衛 (東京電機大)

セッション 3 グラフィック基礎/表示技術 (15:15~17:15)

座長 津田 順司 (日 立)

トライアングルプロセッサとその図形処理への応用 山口富士夫 (九州芸工大)

三次元色彩図形表示処理専用プロセッサ HPRG

松代 信人, 吉田 隆義, 和宇 慶康, 棟安 実治, 大宅伊久雄 (沖電気)

色分散を考慮した光線追跡の一方法

高木 淳, 鶴岡 信治, 木村 文隆, 三宅 康二 (三重大), 横井 茂樹 (名 大)

Computer Aided Rendering の技術

近藤 邦夫, 田嶋 太郎 (名 大), 木村 文彦 (東 大)

第2日 (12月7日) 午前の部

セッション4 CAD (9:00~10:30)

座長 守屋 慎次 (東京電機大)

プロダクト・モデリングにもとづく機械組立品の表現と設計自動化への応用

鈴木 宏正, 木村 文彦 (東大)

階層型幾何モデルとその応用

井越 昌紀 (機械協会)

階層構造をもった三次元グラフィックシステムの開発

石井 繁夫 (東大)

セッション5 CAD 周辺技術 (10:45~11:45)

座長 内田光太郎 (リコー)

CAD における代数曲面処理

下村 克則 (日電)

強化4分木による図形データ管理アルゴリズム

今宮 淳美, 牛島 一朗 (山梨大)

——昼食 (11:45~13:00)——

第2日 (12月7日) 午後の部

セッション6 パターン認識/人工知能 (13:00~15:00)

座長 出澤 正徳 (理研)

顎変形症の Treatment Planning 支援のための CAD システム (CADOS)

金森 吉成, 菅原 順二, 野口 正一 (東北大), 増永 良文 (情報大)

プリント板カラーパターン図の自動入力システム

伊藤 能一, 山本 正成, 原田 裕明, 石井 光雄, 角田 敏彦 (富士通)

機械の概念モデラ CONMOTO による部品記述と図面解釈について

伊藤 公俊, 河野 真儀, 森 敦 (東工大)

APL における対象指向プログラミングと組み立て構造表現への応用

長澤 勲 (九大)

セッション7 パネル討論 (15:15~17:15)

司会 服部 幸英 (東洋情報)

次世代の CAD はどうあるべきか

木村 文彦 (東大), 池田 嘉彦 (日本鋼管), 山川 修三 (横通研)

併設ビデオショー

場 所 機械振興会館研修2号室 (地下3階)

〔題 名〕	〔出 展 者〕	
“Still and Life”	広島大学	中前研究室
“84 SIGGRAPH 出品作品”	大阪大学	大村研究室
“キーフレーム・アニメーション”	東京工業大学	安居院中嶋研究室
“未来へのかけ橋” —石油化学	東海大学	源田研究室
“GROWTH” —Mysterious Galaxy	日本電子専門学校	河口洋一郎
“GROWTH II” —Morpho-Genesis		
“Computer Aided Design for Orthognathics Surgery”	東北大学	金森研究室
“SEDIC 作品集”	SEDIC	
“84 SIGGRAPH 出品作品”	JCGL	
“NHK コンピュータ・グラフィックス”	NHK	

「グラフィックスと CAD」シンポジウム

参加申込書

昭和 59 年 月 日
申込者 氏名 _____ 会員 No. _____
連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 _____
Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助, 協賛会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生会員 5,000 円

○送金方法

_____ 円を _____ 月 _____ 日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945	富士銀行虎ノ門支店 993632
三菱銀行虎ノ門支店 0000608	三井銀行本店 4298739
住友銀行虎ノ門支店 10899	三和銀行虎ノ門東京公務部 21409
名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会	

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. _____)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は 1 人 1 枚として下さい (この用紙のコピーで可)。

創立 25 周年記念論文公募について

情報処理学会では創立 25 周年を記念して, 昭和 60 年 11 月発行の会誌「情報処理」を, 研究会の活動を反映させた記念論文特集号とすることに決定いたしました。

申すまでもなく, 研究会は会員相互の自主的な研讃と研究情報交換の場であり, 学会活動の大きな柱であります。従来, 研究会活動の活性化と自主性を高める方策がとられて参りましたが, 今回その成果を記念論文特集号に反映させることは, 記念事業としてふさわしく, 学会の将来への発展の礎石となるものであります。

したがいまして, 会員各位におかれても, 奮って応募されますようご案内申し上げます。詳細は 8 月号本欄を参照ください。なお, 自然言語処理研究会の募集方針は次のとおりです。

◆ 自然言語処理研究会

当研究会とシンポジウム等に発表されたものの中から選考する。

「アドバンスト・データベース・システム」
シンポジウム開催のお知らせ

6月号本欄でお知らせしました標記のシンポジウムを行います。詳しいプログラムについては11月号に掲載いたします。なお、定員に制限がありますので早目にお申込みください。

記

日 時 昭和59年12月11日(火)、12日(水)

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

プログラム

- サーベイ 「データベース先端技術の展望——データベースマシン」 関野 陽(日電)
- 招待講演 「An Overview of Relational Database Machine Delta」 宮崎 収兄(ICOT)
「作成者側から見たデータベース——Needs-IR」 小松 正賢(日経新聞社)
- パネル討論 「時間概念の導入とその表現方法」 司会 有澤 博(横浜国大)
- 一般論文発表(予定9編)

参加費 会員 10,000円(非会員 15,000円) 学生会員 5,000円
(論文集のみ2,500円, 送料300円)

申込締切 昭和59年11月26日(月)(定員150名になり次第, 締切ります)

き り と り

「アドバンスト・データベース・システム」シンポジウム
参加申込書

昭和59年 月 日

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先(住所, 会社名, 所属) 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費(該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 10,000円 非会員 15,000円 学生会員 5,000円

○送金方法

_____円を_____月_____日送金します(金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留

b. 銀行振込(いずれも普通預金口座)

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門支店 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行虎ノ門支店 10899

三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通
請求先 _____

注) 申込書は1枚1人として下さい(この用紙のコピーで可)。

「第26回プログラミング・シンポジウム開催のお知らせ」

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたします。参加ご希望の方は、期日までに所要事項を申込書（コピーでも可）に記入の上、お申し込みください。

本シンポジウムの趣旨から、「情報処理関連分野で多くの経験のある方、またはこれに強い関心を持ち積極的に勉強されている若い新鮮な方で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある方」の参加を希望します。

記

日 時 1985年1月8日（火） 午前10時 受付開始（この日の昼食は用意しません）
午後1時30分 開会

1月10日（木） 午後1時 散会

場 所 箱根ホテル小涌園（神奈川県足柄下郡箱根町二の平 1297）

Tel. (0460) 2-4111

交 通 路線バス：小田原駅表口＜登山バス＞箱根町行～小涌園前 約40分

箱根湯本駅～小涌園前 約30分

タクシー：小田原駅表口～小涌園前 約30分

箱根湯本駅～小涌園前 約20分

参 加 費 （予稿集代、宿泊費を含む。括弧内は非会員参加費）

☆大学院学生 15,000円（17,000円）

☆大学助手以上

研究所関係者 25,000円（28,000円）

☆会社関係者 35,000円（40,000円）

※2つ以上の身分を持っている方の場合は、高い方の会費を適用させていただきます。

申 込 締 切 1984年11月20日（火）

- 注意
1. 参加申し込み後、申し込み者の都合により参加を取り消される場合は、12月20日までにお願います。取り消しの連絡のない場合は、準備の関係上、参加費を徴収させていただきます。事情により代理の方の参加を認めず。
 2. 会場、宿泊設備の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますから、あらかじめご了承ください。
 3. 同一所属からの参加者数は適当にご調整ください。
 4. 開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 1月8日（火）

○開会の辞（13:30～14:00）

委員長 高橋 秀俊

セッション1（14:00～15:00）

- ・動的複合実行方式に基づく統合的プログラミング環境 佐藤 豊、板野 肯三（筑波大）
- ・超時空プログラミングシステム Uranus 中島 秀之（電総研）

——休憩（15:00～15:30）——

セッション2（15:30～17:00）

- ・招待講演「新しい宇宙像」 森本 雅樹（東大・東京天文台）
- ・夏のシンポジウム報告 有山 正孝（電通大）
- ・若手の会報告 相原 玲二（広島大）
- ・GPCC 報告 竹内 郁雄（武蔵野通研）

——夕食 (17:00~19:30)——

○自由討論, マイコンデモ (19:30~)

第2日 1月9日 (水)

セッション 3 (9:00~10:30)

- ・論理プログラムの変換による効率化 中川 裕志 (横浜国大)
- ・ベクトル計算機による Prolog の実行 金田 泰 (日 立)
- ・Concurrent Prolog によるオンライン在庫管理システムの記述
大木 優 (ICOT), 二村 良彦 (日 立), 竹内 彰一, 宮崎 敏彦, 古川 康一 (ICOT)

——休憩 (10:30~11:00)——

セッション 4 (11:00~12:00)

- ・属性文法によるコンパイラ生成系 石塚 治志, 佐々 政孝 (筑波大)
- ・ μ 行為インタプリタの設計試作 岸田 克巳, 辻 尚史, 五十嵐 滋 (筑波大)

——昼食 (12:00~13:30)——

セッション 5 (13:30~15:00)

- ・Unix Emacs に漢字を教えた話 植田 健治 (リコー)
- ・柔軟に機能を定義できるスクリーン・エディタについて 馬野 元秀 (岡山理大)
- ・編集子 SPE 島内 剛一 (立教大)

——休憩 (15:00~15:30)——

セッション 6 (15:30~17:00)

- ・プロセス・ネットワークによる OS について 田胡 和哉 (筑波大)
- ・ワークステーション用オペレーティング・システムの移植について 多田 好克 (東 大)
- ・ファイル領域の利用状況の調査と改善 前野 年紀 (東工大)

——夕食 (17:00~19:30)——

○自由討論, マイコンデモ (19:30~)

第3日 1月10日 (木)

セッション 7 (9:00~10:30)

- ・多面体の分解アルゴリズムに関する考察 古川 進 (山梨大)
- ・楽曲の特徴抽出 野瀬 隆, 高田 正之 (農工大)
- ・マンマシンシステムとしての自動演奏システムの現状
笹川 瑠美, 三好 和憲, 五十嵐 滋 (筑波大)

——休憩 (10:30~11:00)——

セッション 8 (11:00~12:00)

- ・レビューのレビュー 君島 浩, 日野 克重 (富士通)
- ・大型コンピュータを用いたオンライン・ペーパーレス・ブレイル・システムの開発
小川 靖彦, 中山 和彦 (筑波大)

○閉会の辞 (12:00~12:15)

委員長 高橋 秀俊

——昼食 (12:15~13:00)——

※自由討論, ポスターセッション, マイコンのデモなどをおこないます。参加ご希望の方はご用意ください。
講演は発表 20 分, 討論 10 分です。招待講演については講演 45 分, 質問 15 分を予定しています。
なお, 日程には若干の変更があるかもしれません。

「第26回 プログラミング・シンポジウム」
参加申込書

昭和59年 月 日

- フリガナ
1. 氏名 _____ 男・女
- 所 属 _____
- 連絡先(〒 _____) _____
_____ Tel. _____

2. 参加区分
- | | 会 員 | 非会員 |
|-------------------|--------------------------|--------------------------|
| ☆大学院学生 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ☆大学助手以上
研究所関係者 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ☆会社関係者 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
- 会員番号 _____

※参加区分は、該当の□に×を入れてください。さらに情報処理学会員の方は、会員番号もご記入ください。記入のない場合は、会社関係者・非会員として取り扱います。

3. 送金・支払方法
- a. 当日持参します。
- ¥ _____ 也を次の方法で送金します。(送金日 ____月 ____日)
- b. 現金書留 c. 郵便振替 d. 銀行振込 (_____ 銀行宛)
- (郵便振替口座番号, 取扱銀行, 送金先等は7月号749ページ参照)
4. 夜の自由討論, ポスターセッション, マイコンデモなどの発表予定の方はお知らせください。また、興味のある分野もお書きください。今後の参考にします。
- ◇夜の自由討論の希望テーマ _____
- ◇ポスターセッション・マイコンデモの希望 _____
- ◇興味のある分野 _____

5. 送付先・問合せ先
- 情報処理学会「プログラミング・シンポジウム」係
- 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3号
- Tel. (03) 431-2808

本会協賛等の行事案内

	(開催期日・場所)	(主催・問合せ先)
電子通信学会 東京支部講演会	昭和 59 年 11 月 2 日(金) 東大医学部・好仁会 301 号室	(社)電子通信学会東京支部 Tel. 03(433)6691
初心者のためのロボット講習会「マニピュレータ制御講座」	昭和 59 年 11 月 20 日(火) 機械振興会館	日本ロボット学会 Tel. 03(434)2061
第 5 回 OR セミナー 「情報量統計学—AIC による統計学の再構成」	昭和 59 年 11 月 15 日(木) ～16 日(金) 日本 IBM サイエンス・イン スティテュートセミナー ルーム	(社)日本オペレーションズ・ リサーチ学会 Tel. 03(815)3351
第 13 回シンポジウム 「地理的情報の処理 に関する基本アルゴリズム」	昭和 59 年 12 月 5 日(水) 東大工学部 11 号館講堂	
1985 年 情報学シンポジウム	昭和 60 年 1 月 8 日(火) ～ 9 日(水) 日本学術会議	日本学術会議 情報学研究連絡委員会 Tel. 03(403)6291
第 15 回信頼性・保 全性シンポジウム	昭和 60 年 5 月 29 日(水) ～31 日(金) 農協ビル	(財)日本科学技術連盟 信頼性・保全性シンポジウム 組織委員会 Tel. 03(352)2231 (内 524)
5th Int'l. Conf. on Distributed Computing Systems	May 13-17, 1985 Denver, Colorado, USA	IEEE Computer Society

論文誌および欧文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(隔月刊) および欧文誌 “Journal of Information Processing” (略称 JIP・季刊) は下記のとおり、有料頒布となっております。

新規に購読を希望される会員は下記の申込書(コピーにて可)にて、お申込みください。
郵便振替口座番号、取扱銀行、送金先等は7月号749ページにあります。

年間購読料	会 員	非 会 員
論 文 誌	4,500 円	7,800 円
欧 文 誌	3,000 円	6,000 円 (海外 7,000 円)

昭和 年 月 日

論文誌・欧文誌購読申込書

下記により購読を申込みます。(該当欄を○で囲む)

1. 氏 名 _____ 会員 (正, 学生, 賛助)・非会員

連絡先 (〒 _____)

電話 _____

送本先 (〒 _____)

(注) 会員には会誌の送付先に送本いたしますので、送本先の記入は不要です。

2. 購読希望誌 (申込月の翌月以降の発行誌から送本します。送本希望欄は特に必要な場合のみ記入)

a. 情報処理学会論文誌 (_____ 巻 _____ 号から送本希望)

b. 欧文誌 “Journal of Information Processing” (_____ 巻 _____ 号から送本希望)

3. 送金の方法

¥ _____ 也をつぎによって送金いたします。(送金月日 _____ 月 _____ 日)

a. 現金書留 b. 郵便振替 c. 銀行振込 (_____ 銀行宛)

4. その他 (学会事務局への連絡事項)

支 部 だ よ り

中 部 支 部 大 会 案 内

—昭和 59 年度電気関係学会東海支部連合大会—

- 日 時 昭和 59 年 10 月 20 日 (土), 21 日 (日)
- 場 所 名城大学理工学部 (名古屋市天白区天白町八事裏山 69-49)
- 特別講演 10 月 20 日 (15:00~17:00)
変革の時代における我が国産業の展望 大隈 孝一 (名城大)
- シンポジウム (依頼)
- 低温プラズマ反応の新展開 座長 家田 正之 (名大) 森田 慎三 (名城大)
極低温・超電導技術の電力機器への応用 座長 鬼頭 幸生 (名大)
文字・図形・音声の複合通信サービス 座長 坂倉 文忠 (名大)
CAD・CAM・FA の現状と今後の課題 座長 楠 菊信 (豊技大)
Bio-electromagnetics の諸問題 座長 赤尾 保男 (名大)
- 懇 親 会 10 月 20 日 (17:30~19:30)
名城大学校友会館 会費 3,000 円 (学生 1,500 円)
参加希望者は当日総合受付にてお申し込みください。
- 事 務 局 〒460 名古屋市中区大須 4-9-60 電電公社 東海電気通信局施設部内
電子通信学会東海支部 Tel. 052 (291) 2451
- そ の 他 駐車場がありませんので、マイカーの乗入れはできません。

関西支部セミナー開催のお知らせ

—高機能ワークステーションとその応用—

情報処理の今後の新しい形態として高機能ワークステーションの利用が注目されているが、今回のセミナーでは、この高機能ワークステーションについてその基礎と応用の両面から解説し、さらに実際に高機能ワークステーションを導入するときの参考となる豊富な実例や手引きも紹介します。多数の方々のご参加をお願いします。

- 日 時 昭和 59 年 11 月 9 日 (金) 11:00~18:00
- 場 所 (財)関西情報センター 会議室
- プログラム 「高機能ワークステーションの展望」(11:00~12:30) 坂村 健 (東大)
「高機能ワークステーションの応用」(13:20~14:50) 斎藤 信男 (慶大)
「J Star と 1100 SIP について」(14:50~15:50)
上林 憲行 (富士ゼロックス)
「SUN ワークステーションについて」(16:00~17:00)
吉川 徹男 (伊藤忠データシステム)
「Symbolics 3600」—機械翻訳と画像処理への利用— (17:00~18:00)
中村 順一 (京大)
- 参 加 費 正会員 8,000 円, 学生会員 4,000 円, 非会員 12,000 円

定員 100名 (定員になり次第, 締切ります).
申込方法 「はがき」に「支部セミナー申込」と書き, ①勤務先, ②部課, 役職, ③氏名,
④住所 (Tel.) を記入して下記までお申し込みください.
申込先 〒530 大阪市北区中之島 5-3-51 大阪国際貿易センタービル 4 F
(財)関西情報センター気付 情報処理学会関西支部 Tel. 06 (448) 6630 (直)

東北支部研究講演会

日時 昭和 59 年 10 月 25 日 (木) 15:00~17:00
場所 岩手大学工学部 17 番階段教室
講演者 中島 隆之 (電総研パターン情報部)
演題 最近の音声情報処理技術について
連絡先 岩手大学工学部 田山 典男 Tel. 0196 (23) 5171 (内 2654)